

第6回四日市市行財政改革推進会議（概要）

日 時：平成14年3月14日（木） 午後1時30～4時

場 所：市役所7階 部長会議室

出席者：委 員：伊藤 岩崎 稲沢 加藤 藤田 丸山 渡辺（敬称略）

井上市長

事務局：川北総務部長、山口行財政改革推進室長、伊藤補佐、太田、城田

1 開 会

会長あいさつ

各研究課題の提言案について今回委員全員で議論を行い、平成13年度の行財政改革推進会議の提言をまとめたい。

2 審議事項

[1] 各研究会からの提言案に対する意見等

(1) 地区市民センター研究会

- ・ 地区市民センターについての行政の努力目標を掲げ、それに向って取り組むべきである。
- ・ 地区市民センターの役割や地域への補助金をはじめ、業務の実態等を市民に知ってもらい、市民の自立及び自主性が発揮できる仕組みづくりが大切。

(2) 希望の家、寿楽園研究会

- ・ あるべき処遇水準の設定について、具体的に提言してはどうか。
- ・ 民営化が目的ではなく、また民営化がサービス水準の向上につながることの提言も必要。

(3) 幼稚園保育園研究会

- ・ 統廃合の新たな基準を設け、取組項目の目標年度達成を目指すべきである。
- ・ 保育園の拡充により、女性の社会進出を支援できる環境づくりも必要。

[2] 財政問題について

- ・ 向こう5年間の財政見通しを具体的に市民にわかりやすく公表すべきである。
- ・ 提言の中に「財政再建」のキーワードをいれてみてはどうか。

3 閉 会

本日の議論を参考に調整の上、各委員に送付する。